



平成 30 年 6 月 8 日

各 位

会社名 光村印刷株式会社  
代表者名 取締役社長 阿部 茂雄  
(コード：7916、東証第一部)  
お問い合わせ先 取締役常務執行役員 嶋山 芳夫  
(TEL 03 -3492 -1182)

(訂正)「平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の  
一部訂正について

当社は、平成 29 年 11 月 2 日に開示いたしました「平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、別途、本日(平成 30 年 6 月 8 日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正並びに過年度の特別損失の計上に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

なお、業績予想につきましては、訂正前の当時の決算短信の開示のままとしております。

以 上



## 平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 11 月 2 日

上場会社名 光村印刷株式会社  
コード番号 7916 URL <http://www.mitsumura.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)阿部 茂雄

問合せ先責任者(役職名)取締役経理本部長 (氏名)嶋山 芳夫

TEL03-3492-1181

四半期報告書提出予定日 平成 29 年 11 月 13 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 30 年 3 月期 第 2 四半期の連結業績(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30 年 3 月期 第 2 四半期	8,067	△5.3	124	△42.3	143	△40.9	52	△62.2
29 年 3 月期 第 2 四半期	8,515	1.8	216	112.2	242	124.0	138	164.2

(注)包括利益 30 年 3 月期 第 2 四半期 48 百万円 (△84.4%) 29 年 3 月期 第 2 四半期 313 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30 年 3 月期 第 2 四半期	16.78	—
29 年 3 月期 第 2 四半期	44.16	—

(注)当社は平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30 年 3 月期 第 2 四半期	27,208	17,326	63.1	5,492.24
29 年 3 月期	27,229	17,436	63.5	5,528.67

(参考)自己資本 30 年 3 月期 第 2 四半期 17,167 百万円 29 年 3 月期 17,281 百万円

(注)当社は平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり純資産を算定しています。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29 年 3 月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30 年 3 月期	—	0.00			
30 年 3 月期(予想)			—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しています。平成 30 年 3 月期(予想)の 1 株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しています。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,540	△4.8	450	△24.7	490	△24.1	300	△8.5	95.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 :有

(注)平成 30 年 3 月期の通期の連結業績予想における 1 株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しています。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示

- ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ②①以外の会計方針の変更 : 無
- ③会計上の見積りの変更 : 無
- ④修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	3,163,420 株	29年3月期	3,163,420 株
②期末自己株式数	30年3月期2Q	37,691 株	29年3月期	37,621 株
③期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	3,125,740 株	29年3月期2Q	3,145,911 株

(注)当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しています。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的だと判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想等のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.当社は平成29年6月29日開催の定時株主総会において株式併合について承認可決されたことにより、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。あわせて同日付けで単元株式の変更(1,000株から100株への変更)を実施しています。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

(1)平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 5.00円、年間配当金合計 5.00円

(2)平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 9.60円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業の輸出、生産が順調に拡大するなど緩やかな回復基調が続く一方で、海外経済の保護主義的な動きや地政学的リスクの顕在化による影響を受ける懸念などもあり、引き続き先行きに留意が必要な状況で推移しました。

当社はこのような情勢のもと、営業部門を改編し、コンパクトな組織を編成することにより得意先に向けたサービス体制の強化を図りました。また、生産部門は、グループ内の商業輪転印刷部門の生産工場の集約や製本加工部門の設備の再配置を行うことにより、生産性向上及びコスト削減を図っています。生産設備面では、ラベル用生産設備の拡充を行うとともに、前期に引き続き品質を一層向上させるための検査の機械化を進めています。電子部品製造事業においては、画面の大型化に対応して表示品位の向上とコスト削減を行うため、I T O に代わる新素材を使用したメッシュパターン<sup>①</sup>の量産化に向けた開発を行っています。

しかしながら、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は 80 億 67 百万円（前年同期比 5.3%減）となり、損益面では配送用伝票の生産調整もあり、営業利益 1 億 24 百万円（前年同期比 42.3%減）、経常利益 1 億 43 百万円（前年同期比 40.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 52 百万円（前年同期比 62.2%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりです。

#### ① 印刷事業

新聞関連や宣伝用印刷物の売上減少等があり、売上高は 72 億 5 百万円（前年同期比 7.2%減）、セグメント利益（営業利益）29 百万円（前年同期比 80.7%減）となりました。

#### ② 電子部品製造事業

車載用静電容量タッチパネル製品の市場拡大及び移動通信体市場の成長に伴う水晶振動子関連の治具の売上増加により、売上高は 7 億 5 百万円（前年同期比 18.1%増）、セグメント損失（営業損失）65 百万円（前年同期は 1 億 3 百万円の損失）となりました。

#### ③ 不動産賃貸等事業

売上高は 2 億 16 百万円（前年同期比 5.1%減）、セグメント利益（営業利益）1 億 60 百万円（前年同期比 4.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 21 百万円減少の 272 億 8 百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ 89 百万円増加の 98 億 81 百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 1 億 10 百万円減少の 173 億 26 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、最近の業績の動向や経営環境を踏まえて見直しを行った結果、平成29年5月11日に公表しました業績予想を修正しています。詳細は本日（平成29年11月2日）別途開示しました「平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成 29 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成 29 年 9 月 30 日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,793,969	2,860,725
受取手形及び売掛金	3,025,305	2,954,027
製品	306,615	317,496
仕掛品	420,588	512,996
原材料及び貯蔵品	110,637	100,122
その他	229,911	198,875
貸倒引当金	△2,000	△3,000
流動資産合計	6,885,028	6,941,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,857,895	6,695,349
機械装置及び運搬具(純額)	2,562,591	2,744,899
土地	2,957,808	2,957,808
リース資産(純額)	1,557,037	1,673,135
その他(純額)	276,834	94,738
有形固定資産合計	14,212,167	14,165,931
無形固定資産	125,261	110,175
投資その他の資産		
投資有価証券	5,305,056	5,265,387
退職給付に係る資産	427,825	444,075
その他	379,374	385,101
貸倒引当金	△ 105,614	△ 103,876
投資その他の資産合計	6,006,643	5,990,688
固定資産合計	20,344,073	20,266,795
資産合計	27,229,101	27,208,039



(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成 29 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成 29 年 9 月 30 日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,889,369	1,958,925
短期借入金	1,560,000	1,560,000
1 年内返済予定の長期借入金	314,000	314,000
リース債務	335,517	363,746
未払法人税等	97,044	63,992
賞与引当金	169,374	149,645
その他	1,005,671	1,143,074
流動負債合計	5,370,976	5,553,384
固定負債		
長期借入金	1,099,000	942,000
リース債務	1,375,665	1,472,848
役員退職慰労引当金	25,295	12,320
退職給付に係る負債	1,350,781	1,340,350
その他	570,491	560,735
固定負債合計	4,421,233	4,328,256
負債合計	9,792,210	9,881,640
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,607,886	5,607,886
資本剰余金	4,449,556	4,449,556
利益剰余金	5,815,386	5,711,545
自己株式	△117,237	△ 117,415
株主資本合計	15,755,592	15,651,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,660,944	1,629,210
退職給付に係る調整累計額	△ 135,034	△ 113,541
その他の包括利益累計額合計	1,525,910	1,515,668
非支配株主持分	155,388	159,157
純資産合計	17,436,891	17,326,398
負債純資産合計	27,229,101	27,208,039

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,515,428	8,067,402
売上原価	<u>6,912,420</u>	<u>6,502,434</u>
売上総利益	<u>1,603,007</u>	<u>1,564,968</u>
販売費及び一般管理費	<u>1,386,631</u>	<u>1,440,190</u>
営業利益	<u>216,375</u>	<u>124,777</u>
営業外収益		
受取利息	100	82
受取配当金	46,578	49,588
受取家賃	6,763	6,703
その他	32,315	19,225
営業外収益合計	<u>85,757</u>	<u>75,599</u>
営業外費用		
支払利息	42,880	38,650
その他	16,352	18,217
営業外費用合計	<u>59,233</u>	<u>56,868</u>
経常利益	<u>242,900</u>	<u>143,509</u>
特別利益		
固定資産売却益	13,468	—
特別利益合計	<u>13,468</u>	<u>—</u>
特別損失		
固定資産売却損	—	4,384
固定資産除却損	27,121	8,658
減損損失	<u>—</u>	<u>31,510</u>
特別損失合計	<u>27,121</u>	<u>44,552</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>229,246</u>	<u>98,956</u>
法人税、住民税及び事業税	54,250	32,042
法人税等調整額	<u>28,330</u>	<u>7,896</u>
法人税等合計	<u>82,580</u>	<u>39,939</u>
四半期純利益	<u>146,666</u>	<u>59,016</u>
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,737	6,568
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>138,929</u>	<u>52,448</u>

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	<u>146,666</u>	<u>59,016</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161,608	△ 31,734
退職給付に係る調整額	<u>5,340</u>	<u>21,492</u>
その他の包括利益合計	<u>166,948</u>	<u>△ 10,241</u>
四半期包括利益	<u>313,614</u>	<u>48,775</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>305,872</u>	<u>42,207</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	7,737	6,568

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					四半期連結損益計算書計上額
	印刷	電子部品製造	不動産賃貸等	計	調整額	
売上高						
外部顧客への売上高	7,763,937	597,405	154,086	8,515,428	—	8,515,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	74,490	74,490	△ 74,490	—
計	7,763,937	597,405	228,576	8,589,918	△ 74,490	8,515,428
セグメント利益又は損失(△)	<u>152,785</u>	<u>△ 103,960</u>	167,550	<u>216,375</u>	—	<u>216,375</u>

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					四半期連結損益計算書計上額
	印刷	電子部品製造	不動産賃貸等	計	調整額	
売上高						
外部顧客への売上高	7,205,904	705,745	155,753	8,067,402	—	8,067,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	61,100	61,100	△ 61,100	—
計	7,205,904	705,745	216,854	8,128,503	△ 61,100	8,067,402
セグメント利益又は損失(△)	<u>29,422</u>	<u>△ 65,426</u>	160,782	<u>124,777</u>	—	<u>124,777</u>